

東京商工新聞

第488号

発行 東京商工団体連合会

〒116-0013 荒川区西日暮里6-62-1

電話 03-5692-5081

FAX 03-5692-5091

発行責任者 井賀真一

ホームページ [東商連](#) 検索 電子メール mailadm@toshoren.jp

消費税減税、インボイス制度中止を

物価高騰対策を求めて集会・デモ

11月6日、港区芝公園で物価対策、消費税減税とインボイス制度中止を求める大集会が行われました。全体で約9000人、東京の民商から100人近くが参加しました。



東京タワーを背にデモ行進

主催者を代表して全中連の太田義郎代表幹事（全商連会長）は「中小業者が苦しんでいる時に手を差し伸べるのが政治家の仕事なのに、岸田政権は無為無策。消費税率5%への引き下げ、インボイス廃止、マイナンバー強制中止へ。みなさん、強制的に！」と訴え、心一つに多くの人に呼びかけよう」と訴え、

行進して歩き、沿道の人々に「今すぐ消費税5%への減税、ストップインボイス！」とアピールしました。翌7日には参議院議員会館に集まり、省庁交渉や国会議員要請行動をおこないました。



集会に参加した東京の皆さん

厚労省、財務省、国土交通省、金融庁と懇談し、コロナによる経営状況の悪化から立ち直れないまま、原材料費の高騰や円安などの大打撃を受け、ぎりぎりの瀬戸際で踏ん張っている中小業者に対して従来の枠を超える支援を、と求めました。東商連からは星会長はじめ役員・事務局と、新宿民商の会員さんが当事者として参加しました。同時に行われた国会議員要請には玉川民商の海老名事務局長と東商連事務局2人と東京民医連の方が参加。自民党や国民民主の参議院議員にインボイス制度の中止や消費税の減税を求めて要請行動を行いました。

インボイス制度 中止に追い込もう 登録より先に反対の意思を 東青協

東商連青年部協議会（東青協）は10月15日に、佐伯和雅税理士（東京南部会計）を講師として消費税負担の苦しみにインボイス制度学習会を開催し、会場に6人が参加した。渡邊恵司議長は「インボイスは弱者をいじめる制度。今日の学習を力に、中止に追い込もう」と呼びかけました。佐伯税理士は「インボイスによって税負担と日常の記帳実務はどうなるのか」と題し講演。最近になって、フリーランスやアニメ、演劇業界などがインボイス制度に反対



佐伯弁護士（左端）がインボイス制度によって増える税負担などを説明

参加者の質問で「登録し始めた方がいいか相談が寄せられるが、どのように対応したらいいのか」との懸念に佐伯税理士は「現在、課税業者の4割の盛り上げの大切さを強調しました。」

東商連 経営対策交流会

10月28日に東商連会館と民商事務所などを会場と結び、第1回東商連経営対策交流会を開催しました。12民商20人以上が参加しました。討論の最後に猪田副会長が「コロナ禍等で大変な状況が続いている。廃業を考えている人もいる中、一人一人の会員の声で現状を伝えていこう」と閉会挨拶しました。討論では5つの民商から自治体交渉や異業種・業種別交流会などの取り組みが報告されました。豊島・文京民商からは「融資の条件変更」などを実施・声を届け、直接支援をテーマに学習会を開催

閉店していた「雇用調整助成金をつけて従業員にやめてもらわずに頑張っている」など、経験、商売の現状などを交流。支援金は打ち切られていないが中小業者の役割に確信をもちたいと報告されました。

「良い年に」「飛躍の年に…」 千支に絵付け

葛飾民商婦人部

葛飾民商婦人部は10月17日に絵手紙教室を開催しました。久しぶりに6人が参加しました。早いものでもう来年の千支を考える季節になりました。

来年の千支は「つきぎ。今年には絵馬の置き物に色付けしていき、参加者それぞれ違うつぎの置物が完成しました。



そのあとは絵手紙カレンドの月別担当をくじ引きで決め、11月の絵

読者の

ひびく



インボイス制度やめてほしい

世田谷区 高橋一郎
11月7日に玉川税務署でインボイス制度の説明会に参加した。法人向けの資料を配布され、職員が45分もの間、資料を棒読み。残り15分は質疑応答の時間だった。税務署員もインボイスの勉強中なのだろうか。インボイス制度は中止に！前月号の感想

中央区 田辺七郎
豊島・文京民商が文京区の有志議員にインボイス制度をレクチャーした

前号のパズルの答え
ヒナタポッコ
次の方に図書カードを送ります。

豊島区 田辺七郎
豊島・文京民商が文京区の有志議員にインボイス制度をレクチャーした

基本方向と班支部の役割学び 全会員参加の運動をつくろう！

東商連 支部役員学習会

東商連は10月30日長は班・支部の役割について機関紙・教育部の主催で支部役員学習会を開催し、14人が参加しました。

開会あいさつで星美会長は「基本方向と、班・支部の役割を学んで、どうやったら班会・支部役員会が開いていけるか話しあおう」と全支部役員会の開催を提起しました。

代表発言では板橋民商の井藤さん、葛飾民商の兼桑さんから「支部の役員をきちんと決めることと、毎月の開催が、組織が前進するカギ。業種が異なっているにも、商売を守る思いは同じ。精いっぱい頑張りたい」「集まりを持つことの意義と、午後からの分會では役員づくりの重要性を実感できた。コロナ禍の中だからこそ、声を掛け合えるのを待っている、困っている仲間が多い。民商の魅力発揮の時だ」と報告されました。

お楽しみ図書カードが当たる ザ・クロスワード

No.159



応募要領
答えはハガキ・ファックス・メールに書いて東商連まで送ってください。所属民商名・団体名も。締切は毎月第2月曜日。なおひらがな・カタカナ・数字・記号・英字はすべて大文字で記入してください。正解者多数の場合抽選で、3人に図書カードをプレゼント。発表は紙面に掲載します。

- ヨコのカギ
1 自転車の腰かけ
4 年の暮れです
7 「昆虫記」といえば
9像、.....発
10は剣より強し
11平野の中心地は帯広市です
12 国連安全保障.....会
14 ほかの部屋です
16 フランス発祥の軽快な舞曲とは？
18 仏語で「小さい」
20 えん罪は.....の人の人権と人生を奪います
21 朝雨に.....いらすとかな
24に従って操作する
26 新しい年の始まり
27 安楽.....、社長の.....

- タテのカギ
1 動物を間近で見られる
.....パーク
2 寒いから.....を閉めて
小さい物がよく見える
ヒジとトリの間
取っ手が付いた食器
知らせること。合格
.....が待ち遠しい
3 こみは.....して出そう
誕生日ごとにプラス
自分で自分を褒めます
役所や会社などで働いて
います
4 企画案は不採用でした
特定の作曲家の作品を連
続演奏する音楽会
5 十年ひと.....
6気
7 カイコがこもります
8 青は.....より青い！

窮地の中小業者に支援を 日本政策金融公庫と懇談

大田 蒲田 雪谷

大田、蒲田、雪谷の3民商は11月11日に、日本政策金融公庫大森支店と懇談を行いました。この行動に各民商の事務局長と会員など合わせて5人が参加しました。申し入れ内容は、特別貸付をコロナが収束するまで延長することと実質ゼロとなる利子補給を復活することを関連機関に要望すること、新型コロナ禍と物価高騰に直面する中小業者の要望を踏まえ柔軟に審査を行うこと、債権回収において中小業者の実情を踏まえて要望を十分に尊重することなどを求めました。

日本政策金融公庫の回答として、大森支店全体の新型コロナウィルス感染症特別貸付の申し込みは、2020年1月から95万件（金額にして1兆270億円）。飲食・宿泊業の申し込みが多く全体の30%を占めていることが話されました。

また、条件変更中や税金滞納、保証協会に代位弁済がある、赤字決算、借入れが実行されてもないなどのケースで一つの事象をもって一律に融資を断ることはしていないと回答。しかし、借入を繰り返しているケースや、元金を返済するための財務状況などを審査して融資できないケースもあると話しました。債権回収については経営の実態を踏まえて延長の提案など、通常以上に対応するとの回答を得ました。

質疑応答の中で、融資課長は「コロナ禍で業態や仕事の中身を変える経営努力を求め、追加融資だけでなく、返済猶予など支出減での支援を提案している」と追加融資や借り換えの「真水」融資に消極的な姿勢を示しました。参加者から「支援金や協力が打ち切られ、融資は業者のいのち綱」融資は業者のいのち綱「公庫融資を否決されるケースが増えている。国の通達にあるように業者の状況をよく聞き、柔軟な資金繰り支援を行ってほしい」と訴えました。

楽しみながら商売繁盛！ バーベキューで交流深める

江東民商青年部

10月30日、南砂トリップクラブプラザ屋上にて、江東民商青年部のバーベキューを行いました。

当日は天気にも恵まれ、子どもも含めて16人の参加で大いに盛り上がりしました。朝から青年部幹事で火起こしなどの準備を進め、正午にはスタート。小野寺青年部長より、「今日はお集まりいただきありがとうございます。民商青年部活動を盛



り上げるため、みなさんの協力をお願いしています」と乾杯のあいさつがありました。参加者たちは、森山副部長が用意した美味しいお肉などを食べながら、商売のこと、趣味のこと、子育てのことなど様々な話題で語り合いました。

初めての参加者も、「今日はとっても楽しかったです。また青年部の集まりに呼んで下さい」と笑顔で話していました。持ってきた食事をほと

俳句

石川貞夫選

慟哭に寒風の鳴る戦地墓地 大田区 馬場 恵子
「評」ロシアの侵略への怒りを激しく表現した力作。ひつじ田のゆったり風に吹かれをり 三鷹市 根岸 操
「評」収穫の重任を果たした田よ、ゆつくり休め！

秋の雲夫との日々の泣き笑い 大田区 高橋 清美
「評」明るく柔らかな秋の雲から、夫婦の日常を想像。灯笼に影を写して石路の花 足立区 望月千恵子
風に散る枯葉舞う日や昼の月 狛江市 相馬 里子
再読の本を手にして夜の長し 大田区 山根 康子

「投稿規定」ハガキに3句以内。未発表に限る。住所・氏名・電話番号を明記のこと。締切は毎月第2月曜日。宛先は東京商工団体連合会「東京商工新聞」編集部。掲載者には図書カードを贈呈いたします。
*他にも佳句あり。次回もぜひ健筆を！

2023年全都新春決起集会

日時 1月11日(水) 午後6時30分から(予定)
場所 全国教育文化会館エデュカス東京 (千代田区二番町12-1)

掲示板